

利根川上流8ダムが9年ぶりに春期満水となりました 記者発表資料

5月15日0時現在、利根川上流8ダムの合計貯水量は4億5,087万m³で、常時満水容量4億6,163万m³に対し、貯水率98%と満水の状態になりました。

東京都を始め首都圏の1都5県(千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流8ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、そのはら 菌原ダム、しもくぼ 下久保ダム、くさき 草木ダム及び渡良瀬貯水池)は、3月13日に貯水率が39%まで低下しましたが、以降、降雨や気温の上昇に伴う融雪水等により河川の流量が増え、ダムに貯留することが出来たため、春期としては平成11年以来9年振りに8ダムそろって満水となりました。

利根川では、冬期は降水量が少ないため川の水量も少なくなります。水道用水、工業用水、農業用水などの水需要や河川の環境を保持するための必要量に対して水が足りなくならないよう、上流のダムに貯めていた水を放流(補給といいます。)して、ダム下流の流量を増やしています。今期は平年より10日早い昨年12月1日から補給となり、3月13日には、8ダム貯水量が1億8,194万m³まで低下しました。この間合計で1億7,537万m³、東京ドームにして約142杯分をダムから補給しました。

今後は徐々に融雪水が少なくなるため、川の水量も少なくなるとともに、農業用水を始めとする水需要がますます増大していく時期となります。当事務所では、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

限りある貴重な水資源の有効利用と、日頃からの節水にご協力をお願いいたします。

平成20年5月15日(木)

国土交通省 関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会	刀水記者クラブ

問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所	
〒371-0846 前橋市元総社町593-1	
副所長(技術)	齋藤 博明
広域水管理課長	榎澤 義一
電話(代表)	027-251-2021
(夜間直通)	027-251-2271

利根川上流8ダムの貯水量(平成20年5月15日0時現在)

ダム名	有効貯水容量	平成20年5月15日0時現在	
		貯水量	貯水率
①矢木沢ダム	1億1,550万m ³	1億1,535万m ³	100%
②奈良俣ダム	8,500万m ³	8,467万m ³	100%
③藤原ダム	3,101万m ³	3,072万m ³	99%
④相俣ダム	2,000万m ³	1,979万m ³	99%
⑤菌原ダム	1,322万m ³	1,294万m ³	98%
⑥下久保ダム	1億2,000万m ³	1億1,179万m ³	93%
⑦草木ダム	5,050万m ³	4,929万m ³	98%
⑧渡良瀬貯水池	2,640万m ³	2,632万m ³	100%
計	4億6,163万m ³	4億5,087万m ³	98%



利根川上流8ダム位置図

利根川ダム統管理事務所では、利根川上流ダム群の状況等について情報供サービスを行っています。ご利用下さい。

- 電話応答(録音) 027-255-5692
ダム貯水量・貯水率、雨量に関する情報、ダム諸量、河川に関する情報
- インターネットホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>
ダム情報、ダムLIVE情報、降水量・水位LIVE情報、雨量・積雪・降雪情報

<参考資料>

1. 積雪状況

奥利根5ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダム)は、水源に全国でも有数の豪雪地帯を有しています。春期にダムの貯水量が回復するためには、降雨に加え、十分な降雪も必要となります。

本年の最大積雪深は、ほぼ平年並でした。奈良俣ダム地点では4月21日に、消雪となりました。(平年消雪日4月24日)

尾瀬沼地点では5月14日現在44cmの積雪があります。(平年67cm、平年消雪日は5月23日)

表-1 積雪状況

(単位:cm)

観測地点	最大積雪深			積雪深			累加降雪量		
	今年	各年平均	平均比	※現在	平年	平年比	※現在	平年	平年比
奈良俣ダム地点	243 (2/28)	221	110%	0	0	—	1,321	1,180	112%
尾瀬沼地点	265 (3/2)	291	91%	44	67	66%	欠測	1,393	—

※現在:平成20年5月14日9時

平年 : 奈良俣ダムは平成3年~平成19年の半旬末平均値

尾瀬沼は昭和29年~平成19年の半旬末平均値

尾瀬沼観測所は、日降雪量に欠測があり、累加降雪量欠測

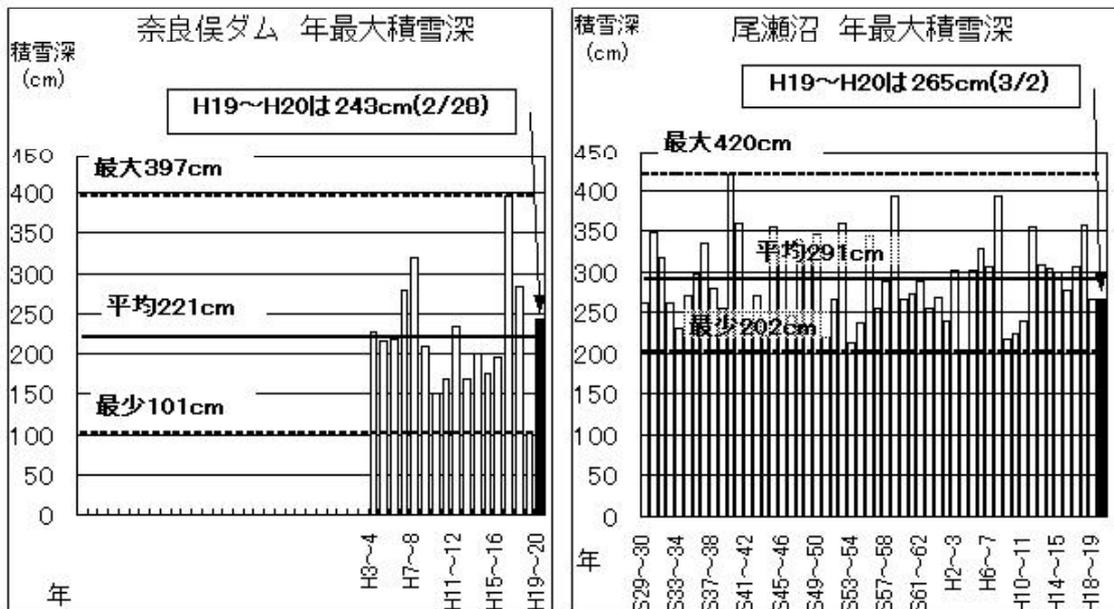


図-1 最大積雪深状況図

現在、雪のある4観測所の積雪深は、尾瀬沼地点を除き平年を上回っています。

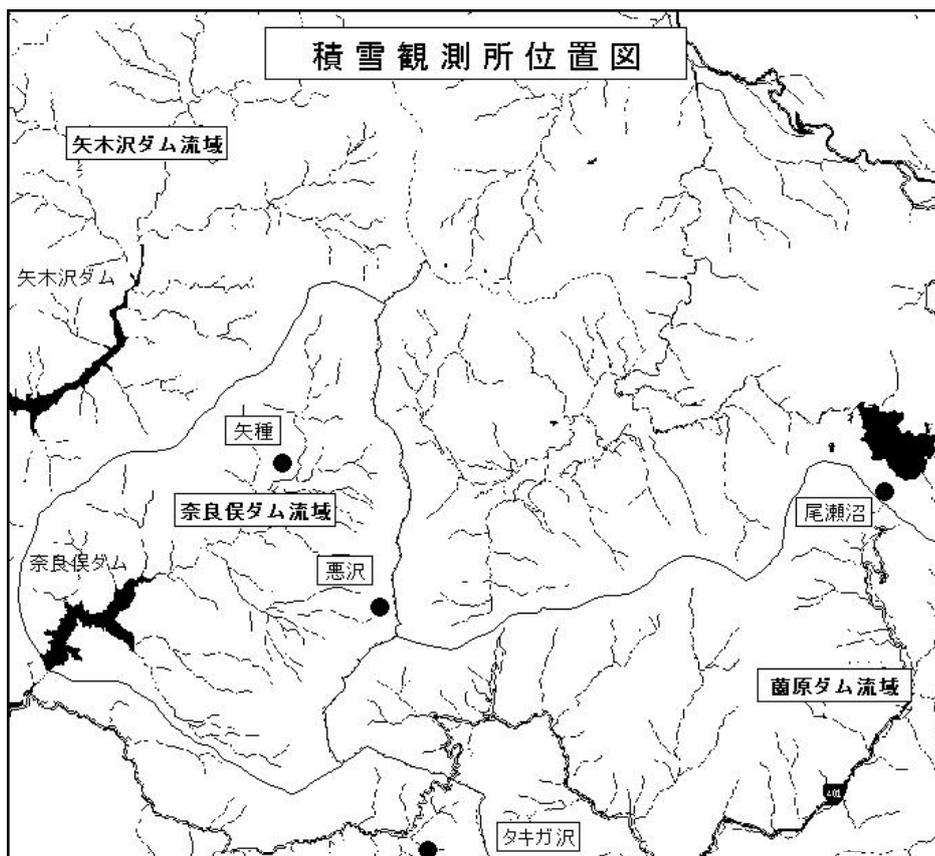


図-2 積雪深観測地点位置図

表-2 積雪深一覧表(9時データ)

観測所名	矢種	タキガ沢	尾瀬沼	悪沢
標高	1,335m	1,500m	1,666m	2,040m
平成19年5月14日	62cm	59cm	36cm	301cm
平成20年5月14日	114cm	88cm	44cm	455cm
5月第3半旬平年値	100cm	64cm	67cm	246cm
平年比	114%	138%	66%	185%

※矢種・悪沢・タキガ沢の平年比は平成4年～平成19年の値、尾瀬沼の平年比は昭和29年～平成19年の値

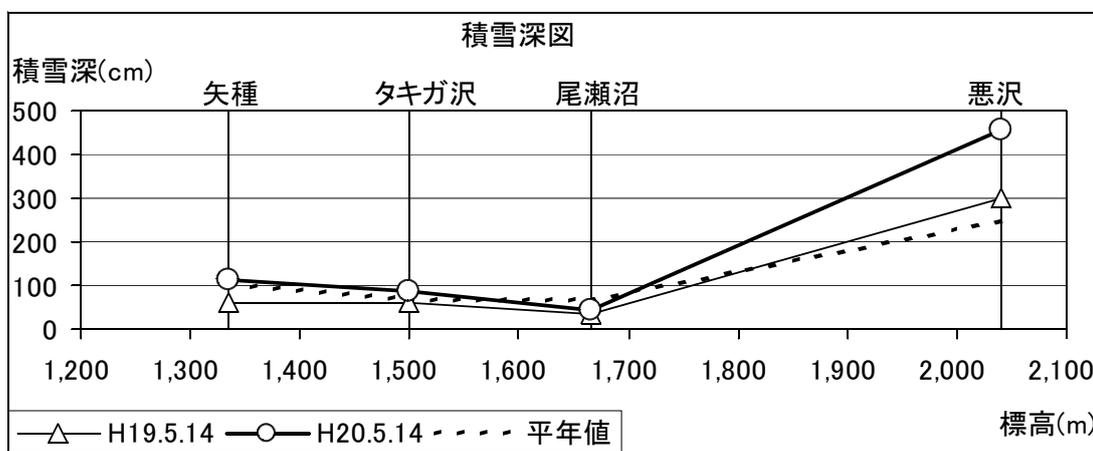


図-3 積雪深状況図

2. 降水量の状況

栗橋上流域平均降水量の月合計値は、1月は27mm(平年の61%) 2月は50mm(平年の106%)、3月は56mm(平年の85%)と少雨傾向でしたが、4月は172mm(平年の198%)と平年の約2倍の量となりました。

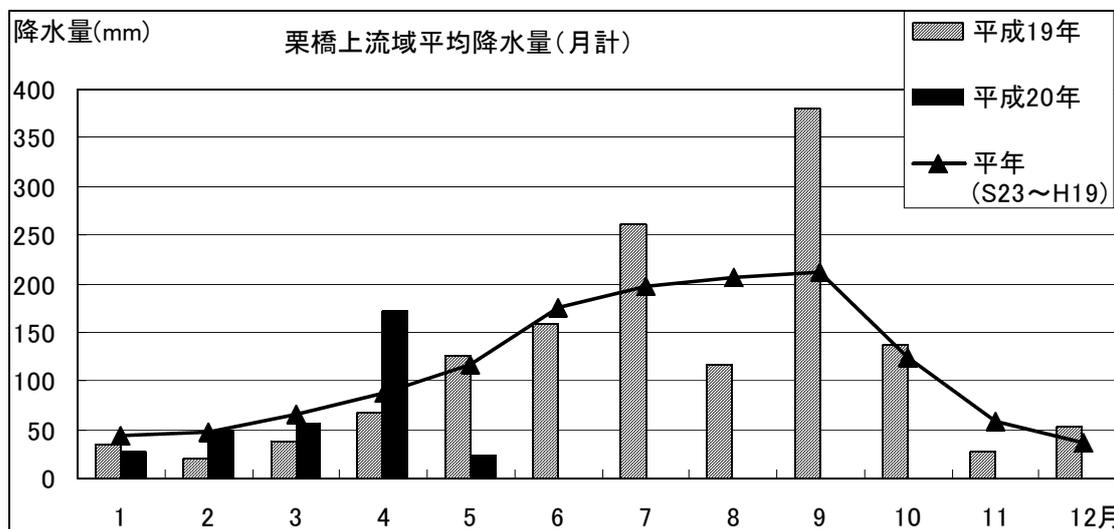


図-4 栗橋上流域平均降水量(月計)

表-3 栗橋上流域平均降水量(月計)

	単位(mm)												合計	摘要
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	〃
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	〃
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成19年	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420	
平年 (S23~H19)	44	47	66	87	117	176	198	206	211	124	59	37	1,372	
平成20年	27	50	56	172	24								329	
平年比	61	106	85	197	21								24	

平成20年5月13日まで

※ ■ 利根川取水制限実施月(一時緩和含む)
栗橋上流域面積 8,588km²

3. 8ダムの状況

ダムの容量は満水で4億6,163万m³ですが、最大で日約1千万m³の補給を行うため、46日程度の蓄えしかありません。利根川では、8ダム体制となった平成4年以降、夏だけでも平成6、8、13年と3回の渇水に見舞われています。

また、平成16年夏期は、記録的な猛暑と少雨が重なり、昨年平成19年には熊谷市において観測史上国内最高気温を更新するなど、取水制限を行うまでの最悪の事態は避けられましたが、利根川の水運用は厳しい状態が続きました。

今後の降水量によっては、ダムの貯水量が著しく低下していく可能性もあります。利根川上流8ダムは、効果を最大限に発揮するよう、一元的にコントロールする「統合管理」を行っており、当事務所では、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

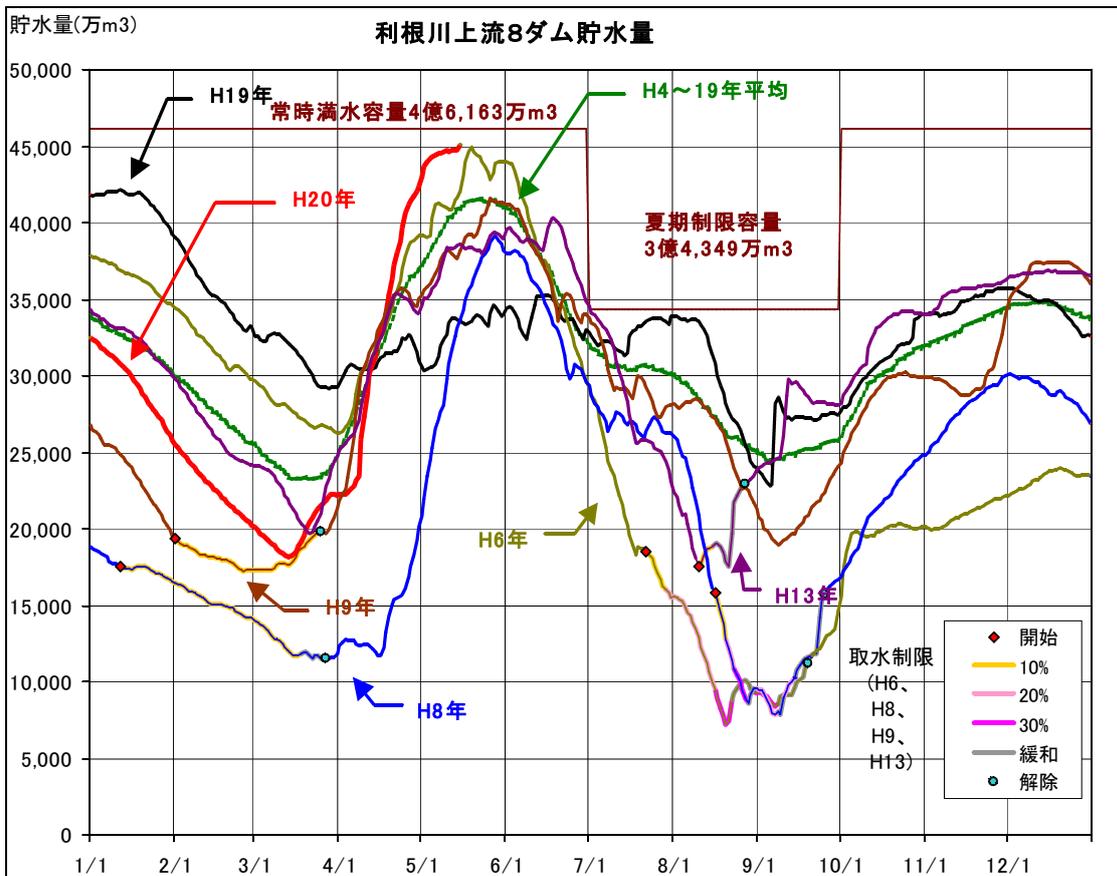


図-5 利根川上流8ダム貯水量図

□ 満水状況写真
矢木沢ダム



藤原ダム



菌原ダム



下久保ダム



奈良俣ダム



相俣ダム



草木ダム



渡良瀬貯水池

